

「とやま地域プラットフォーム」の活動への参加について

1. 「とやま地域プラットフォーム」の概要（2016[H28]年11月設立）

構成員：北陸財務局、日本政策投資銀行、北陸銀行、富山市

※富山県は、本年度（2022年度）からプラットフォームの活動に参加

目的：県内における公共施設等の整備・維持管理・運営等に関し、地域の産官学金間の連携強化、地方公共団体及び地域金融機関を含む民間事業者等の能力向上を図り、PPP／PFI事業導入を促進することにより、効率的かつ効果的な公共施設等の整備・運営及び良好なサービスの提供を確保し、もって地域経済の成長に寄与する。

「とやま地域プラットフォーム」の活動への参加について

1. 「とやま地域プラットフォーム」の概要（前頁からの続き）

事業：①情報・ノウハウ共有

②案件の掘り起こし及びその形成・推進のための意見交換

③能力向上のためのセミナー・勉強会等の開催

実績：2016[H28]年度～2021[R3]年度（計17回）の実績

参加団体数 240団体（のべ887団体）

参加者数 625名（のべ1,370名）

「とやま地域プラットフォーム」の活動への参加について

2. 主な役割分担

- 富山県

案件・課題の提供、庶務、県内自治体への周知

- 富山市（事務局）

案件・課題の提供、庶務

- 財務省北陸財務局

金融機関への周知、ワークショップにおけるファシリテーター（人的側面）

- (株)日本政策投資銀行

テーマに関連する先進事例・講師等の紹介

- (株)北陸銀行

会場提供、地域企業への周知・課題把握

<ポイント>

富山市と共に企画・運営的業務に携わるとともに、市町村への周知・連絡等を行う。

「とやま地域プラットフォーム」の活動への参加について

3. スケジュール

4月 総会開催（4 / 25 県の P F 活動参加について報告）

年 3 ~ 4 回 研修会等の開催

（講演、ワークショップ、オープン型サウンディング等）

4. P F 活動の将来に向けての課題

- 民民間ネットワークの拡大・強化
- 参加者の裾野拡大

地域企業の連携を進め、PPP / PFI 事業
における より高い提案能力の獲得へ！

5. 県の P F 活動参加により期待される効果等

- 県の参加により「プラットフォーム」への関心が県全域に広まり、地域企業が、さまざまな公共施設の整備・運営構想に触れる機会が増え、PPP / PFI 事業への参画を検討する契機となる。
- 県としては、新たな公共施設の構想等について、民間企業に周知するとともに対話を行う機会としてとらえ、公民連携を一層進めたい。